



10. 松に鶏図 安政2年（1855）
上小塙 木戸八幡神社 （目録 8）

鶏は非常に仲の良いことから家庭円満・夫婦円満の祈願を示すが、鶏は夜は鳴かないことから、小児の夜泣き・かんの虫・百日咳の治癒祈願といわれている。その他、餌をつつく光景から連想して落とし物発見など、鶏はいろいろな祈願の対象になった。貼絵。



11. 白鳩図 安政6年（1859）
上小塙 木戸八幡神社 （目録 9）

鳩は神社の杜に集まるところから、八幡様のお使いといわれ、諸願達成の祈願とされる。また鶏と同様夫婦和合・家庭円満祈願を意味する。ほかに労働でできた手足のマメに効能があるとされている。貼絵。



12. 白狐と神像図 年不明
上小塙 木戸八幡神社 （目録 14）

神像が狐に乗り、尾の先端に宝珠を描く図柄である。狐は稲荷神の使いといわれて五穀豊穣・商売繁盛を意味し、宝珠（宝の玉）は何でも思うことがかなえられるとされている。